

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポートセンターあさひが丘 児童発達支援センター ルウ 放課後等デイサービス レラ		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 5日		～ 令和6年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 5日		～ 令和6年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	令和6年 12月 5日		～ 令和6年 12月 27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子さまのことを十分理解し、お子さまと保護者のニーズを分析した上で保育所等訪問支援計画を作成し、支援を行っています。	・日々の療育での様子は勿論、ご家庭、保育園や幼稚園、認定こども園や学校での様子等、様々な場面の情報の収集を行うなど、丁寧なアセスメントをした上で計画を作成しています。	・引き続き、児童発達支援管理責任者、担当保育士、児童指導員に加え、公認心理師や言語聴覚士、理学療法士等の専門職の意見も踏まえながら、保育所等訪問支援計画に反映させていきます。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・「アプローチの仕方や気をつけることなど、聞くだけでは分からないこともあるので、実際に見せていただければ」とあるように、関係機関の方を実際に療育場面にお呼びし、見ていただく機会が少ないことは課題と考えています。	・こちら側からの、関係機関の方たちへ、療育の現場をみていただくような働きかけ自体が少なかったと思います。	・保育所等訪問支援や個別支援計画作成のための連携会議を実施する際に、こちら側からの継続的な訪問をさせていただきたい旨に加え、療育の現場へも先生方のご都合がつく日に事業所に足を運んでいただきたいことも併せてお伝えしていきます。
2			
3			